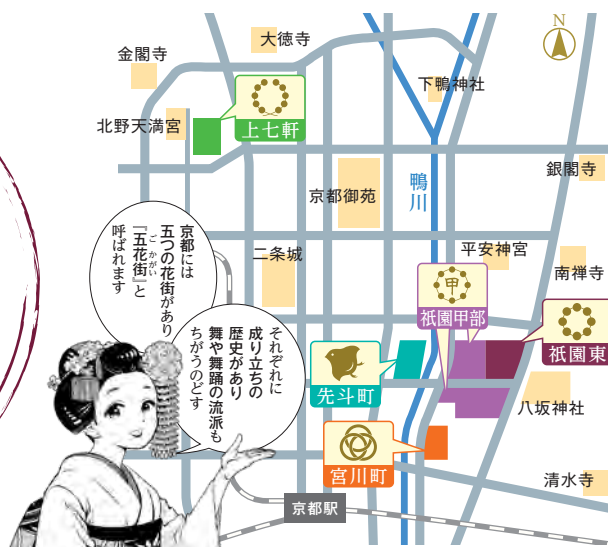


京の花街文化散策MAP

五花街文化を体感しよう!



花街ってどんなところ?



上七軒

北野天満宮(きたのてんまんぐう)に近接し、京都を代表する絹織物産地「西陣(にしじん)」と結びつきながら独特の格式と風情の花街として発展。豊臣秀吉(とよとみひでよし)が北野大茶会の際に、名物の御手洗団子を気に入り茶屋株(ちゃやかぶ)を許可した後、茶屋街になったと。

チェックポイント

- 上七軒歌舞練場(かみしちけんかぶれんじょう)
- 北野天満宮(きたのてんまんぐう)
- 百鬼夜行の通り道
- 大將軍商店街(たいしょうぐんしょうてんがい) 一条妖怪(いちじょうようかい) ストリート など

はなやぎりゅう 花柳流



散策中、舞妓さんに会えるかも!?

先斗町

鴨川(かもがわ)沿い、四条から三条の細い石畳の通り。紅殻格子(べんがらこうし)のお茶屋や置屋、飲食店が並ぶ。鴨川と高瀬川(たかせがわ)の間に作られたこの通りは、高瀬舟(たかせぶね)の船頭や旅客目当ての旅籠(はたご)屋ができたことが始まり。

チェックポイント

- 先斗町歌舞練場(ほんとうちようかぶれんじょう)
- 鴨川納涼床(かもがわのうりょうゆか)
- 高瀬川(たかせがわ)
- 土佐藩邸跡(とさはんていあと) など

おのえりゅう 尾上流

宮川町

江戸時代に四条河原発祥の出雲阿国(いずものおくに)の歌舞伎(かぶき)が行われ、芸能と深くかわりながら芝居町(しばいまち)や茶屋町(ちゃやまち)として発展。

チェックポイント

- 宮川町歌舞練場(みやがわちようかぶれんじょう)
- 南座(みなみざ)
- 出雲の阿国像(いずものおくにぞう) など

わかやぎりゅう 若柳流

祇園甲部

八坂神社(やさかじんじや)の門前町(もんぜんまち)。江戸時代の面影を残し、祇園白川(ぎおんしらかわ)地区を含む京都で最も大きな花街。

チェックポイント

- 祇園甲部歌舞練場(ぎおんこうぶかぶれんじょう)
- 八坂神社(やさかじんじや)
- 花見小路(はなみこうじ)
- 異橋(たつみばし)
- 辰巳大明神(たつみだいみょうじん) など
- 建仁寺(けんにんじ)
- 祇園新橋(ぎおんしんばし)
- 観亀神社(かんきじんじや)



祇園東

東大路通(ひがしおおどおり)と花見小路(はなみこうじ)の間に位置し、明治14(1881)年、祇園甲部から分離独立。当地の氏神(うじがみ)である赤い鳥居の「観亀神社(かんきじんじや)」と並んでしっかりと建つお茶屋の伝統的なたたずまいが印象的。

チェックポイント

- 観亀神社(かんきじんじや)
- 「門前白川道」の碑(もんぜんしらかわみちのひ) など
- 知恩院(ちおんいん)





花街文化をもっと知ろう!



花街の見どころ

歌舞練場は春の「都をどり」秋の「祇園をどり」などのように花街の季節をつげる「をどり」を披露する会場です



スポット景観

五つの花街はそれぞれに成り立ちや歴史があり、舞や舞踊の流派も違います。「歌舞練場」は花街の季節をつげる「をどり」を披露する会場。歴史ある文化財を体感できます。



舞妓さんに出会えるかも!?



●新橋通



●花見小路通



●観亀神社



●出雲の阿国像



●辰巳大明神



●先斗町通



●鴨川



●上七軒通

マナーを守って楽しく観光

- 見学に際しては、建物の柱や文化財など手を触れてはいけないところもあるので、注意しましょう。
- 撮影禁止の所では写真は撮れません。携帯カメラももちろんダメですよ。人を撮るときは、トラブルのもとになるので相手に許可を得ましょう。
- フラッシュ禁止の指示があればモードを変更しておきましょう。
- 神社やお寺はみんなの信仰の場所ということを忘れないようにしましょう。
- 歩いていて現在地がわからなくなったら、まず大通りを探しましょう。バス停があれば、停留所名で現在地がわかります。



花街を支える人々



芸妓さんや舞妓さんが来店されると、店内は一段と華やかさが増します。いつもおおきに、ありがとうございます!

MAP No. ①

かづら清 老舗 祇園本店

- ◆営業時間/10:00~18:00
- ◆定休日/水曜日



HPはこちらから→



夏の挨拶に芸妓さんや舞妓さんがお得意先へ配る名入りの京丸うちわや舞台小道具、舞扇子を制作し、花街の文化を支えています!

MAP No. ③

小丸屋住井

- ◆営業時間/10:00~18:00
- ◆定休日/日曜日・祝日



HPはこちらから→



舞妓さんの花かんざしのほとんどを納めています!

MAP No. ②

金竹堂

- ◆営業時間/10:00~20:00
- ◆定休日/木曜日

HPはこちらから→



伝統工芸の技を受け継ぐ職人さん

緊急時はすぐに連絡を!

緊急時はすぐに110番してください。また、京都府内には「こども110番のいえ」という緑色の看板を掛けている家やお店があります。困ったときや助けが欲しいときは駆け込んでください。

